

北九州市の子ども・家庭政策

第1章 近年の出生率等の状況

1 出生数、出生率の推移

(1) 出生数と合計特殊出生率の推移

北九州市の年間の出生数は、昭和42年に20,507人と最も多くなりました。それ以降は減少傾向で推移し、平成2年に10,000人を割り込み、平成17年には8,196人と当時最も少ない出生数となりました。その後は3年連続で増加しましたが、平成21年より減少傾向に転じ、令和5年は5,514人と、これまで最も少ない出生数を更新しました。

次に合計特殊出生率*をみると、昭和45年では2.0ありましたが、毎年低下し続け、平成17年に過去最低の1.30となりました。平成18年以降から11年連続で増加し、

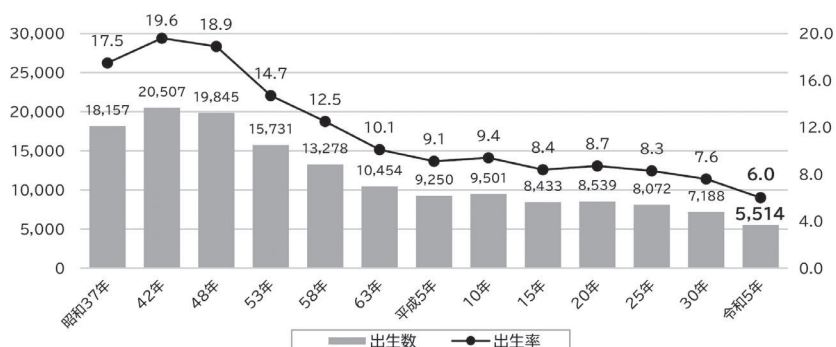
令和2年は1.47と減少に転じましたが、令和4年、令和5年は1.40となりました。

◆北九州市の出生数

年	出生数
30	7,188人
元	6,614人
2	6,459人
3	6,304人
4	5,901人
5	5,514人

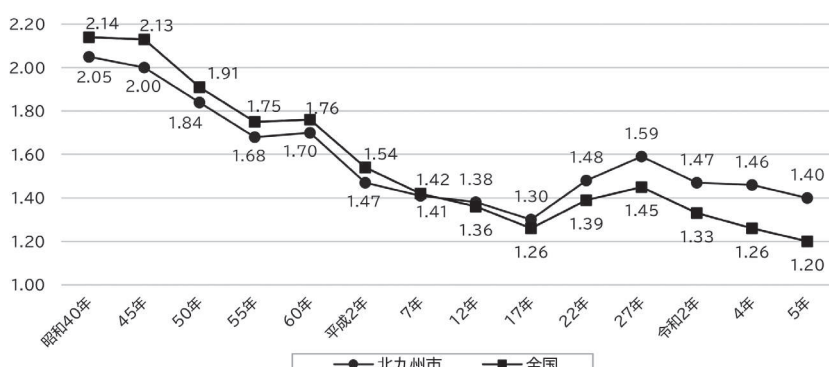
※合計特殊出生率とは、その年次の15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が、仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子どもを生むと仮定したときの子どもの数に相当する。長期的に人口が安定的に維持される合計特殊出生率の水準（人口置換水準）は、2.1前後で、近年の日本における値は2.07～2.08となっている。

◆北九州市の出生数および出生率



資料：厚生労働省「人口動態統計」

◆北九州市の合計特殊出生率の年次推移



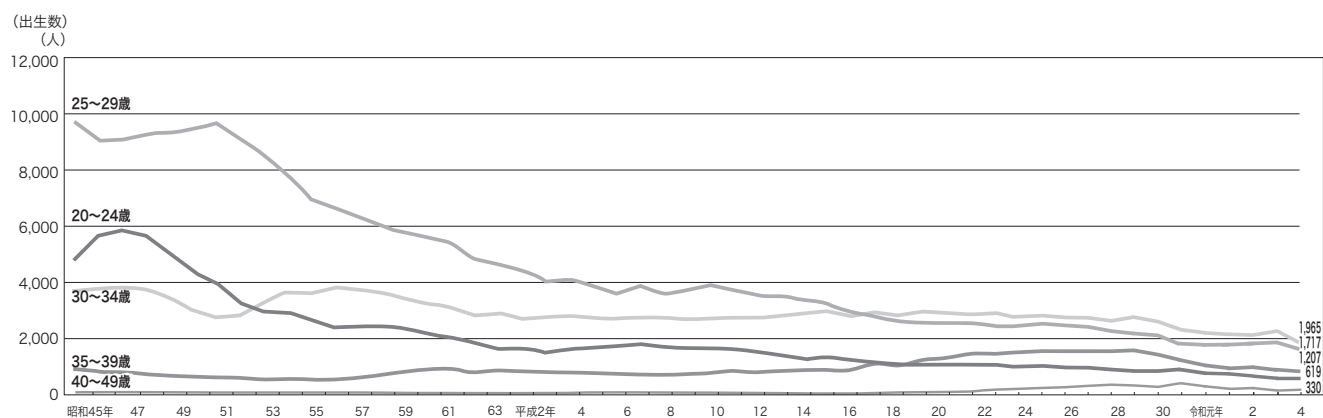
【出典】全国は厚生労働省「人口動態総覧」、北九州市は平成12年、22年、27年、令和2年は厚生労働省公表値、それ以外は「人口動態統計」に基づき独自算出

◆政令指定都市の出生数および出生率の比較 (令和4年)

都 市 名	出 生 数	出生率
札幌市	11,172人	5.7
仙台市	7,026人	6.4
さいたま市	9,596人	7.2
千葉市	5,777人	5.9
横浜市	22,990人	6.1
川崎市	11,248人	7.3
相模原市	4,140人	5.7
新潟市	4,733人	6.1
静岡市	3,949人	5.8
浜松市	4,945人	6.3
名古屋市	16,325人	7.0
京都市	8,372人	5.8
大阪市	18,399人	6.7
堺市	5,350人	6.5
神戸市	8,941人	5.9
岡山市	5,158人	7.2
広島市	8,306人	7.0
北九州市	5,901人	6.4
福岡市	12,198人	7.5
熊本市	5,792人	7.8

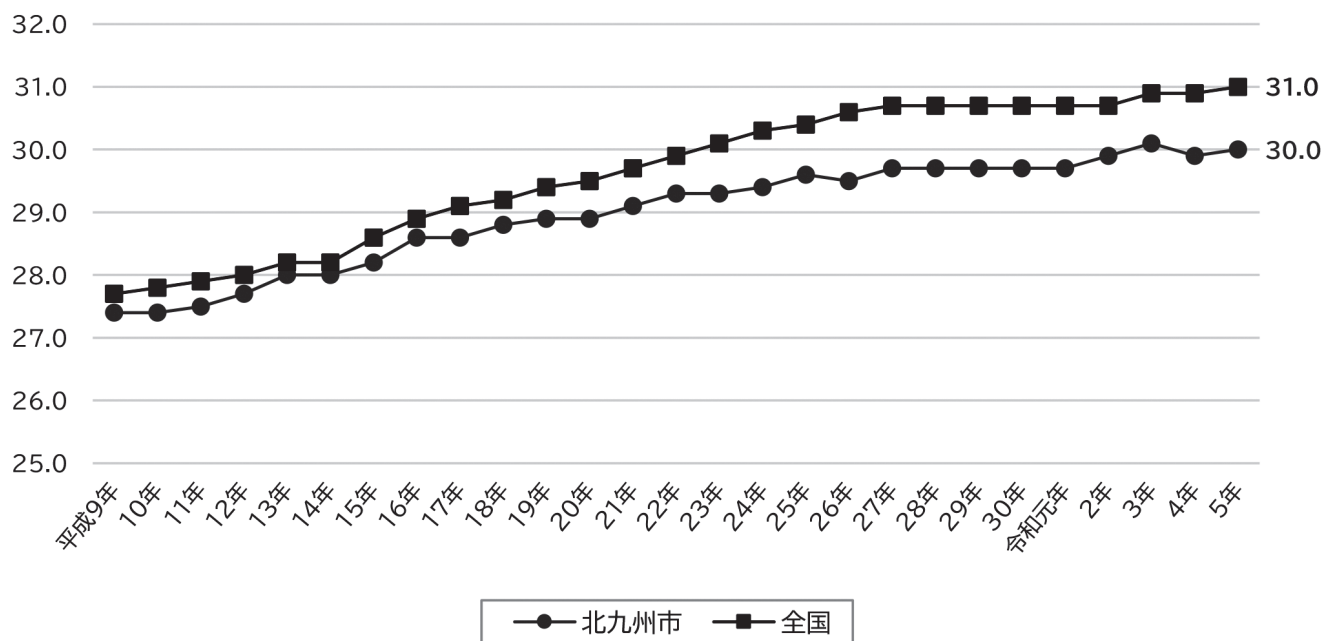
資料：厚生労働省「人口動態調査」
資料：北九州市は「北九州市衛生統計年報」
出生率とは人口1,000人あたりの出生数

◆北九州市の母親年齢階級別出生数の年次推移



【出典】厚生労働省「人口動態統計」

◆北九州市の出生順位第1子の母の平均年齢



【出典】厚生労働省「人口動態統計」

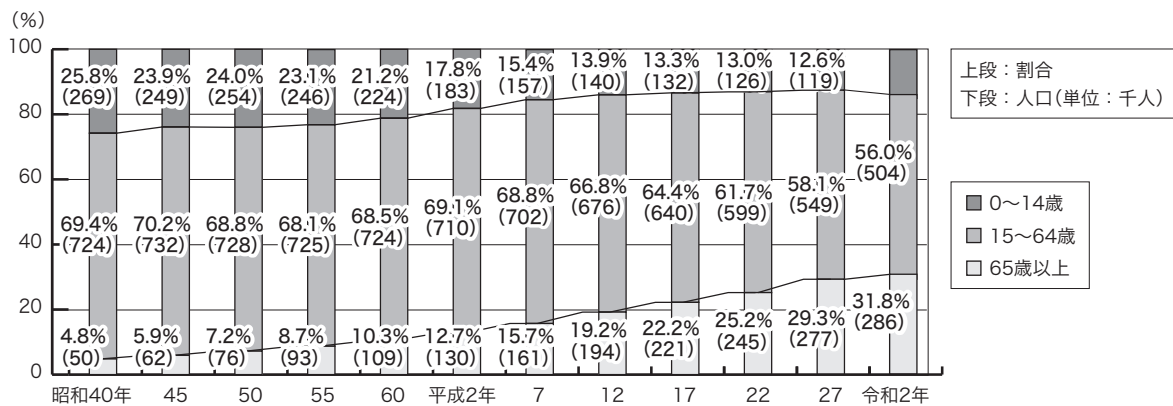
(2) 年少人口と老年人口の推移

出生数の減少は、北九州市における年少人口（0～14歳）の減少をもたらしています。

年少人口の総人口に占める割合（年少人口割合）の変化をみると、昭和40年には25.8%でしたが、令和2年には12.2%となり急激に低下しています。

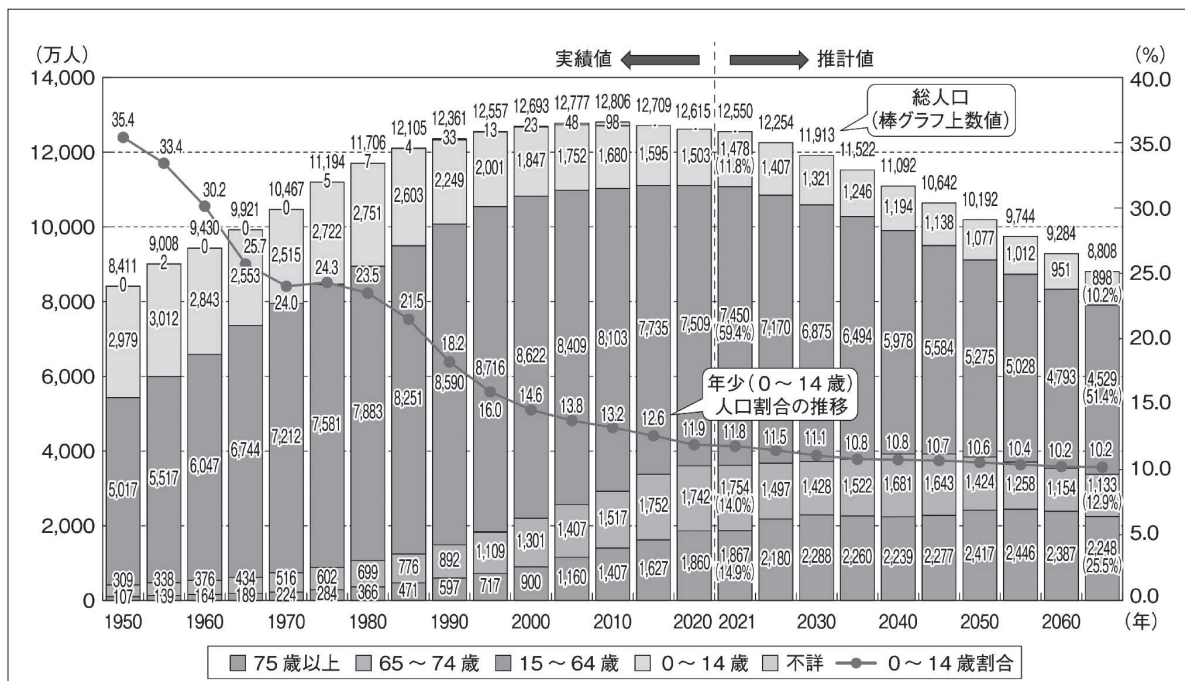
一方、老年人口（65歳以上の高齢者人口）が総人口に占める割合（老年人口割合・高齢化率）の変化をみると、昭和40年には4.8%でしたが、平成7年は15.7%で年少人口より多くなり、令和2年には31.8%と急激に上昇するなど、少子高齢化が進行しています。

◆北九州市の年齢区分別人口割合の推移



資料：総務省「国勢調査」

◆我が国の総人口及び人口構造の推移と見通し



資料：内閣府「令和4年版 少子化社会対策白書」

2020年までは総務省「国勢調査」(2015年及び2020年是不詳補完による。)、2021年は総務省「人口推計」(2021年10月1日現在(令和2年国勢調査を基準とする推計値))、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果から作成。

注：1. 2015年及び2020年の年齢階級別人口は、不詳補完によるため、年齢不詳は存在しない。2021年の年齢階級別人口は、総務省統計局「令和2年国勢調査」(不詳補完)の人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。2025年以降の年齢階級別人口は総務省統計局「平成27年国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口(参考表)」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950～2010年の年少人口に基づいて算出には分母から年齢不詳を除いている。ただし、1950年及び1955年において割合を算出する際には、下記の注釈における沖縄県の一部の人口を不詳には含めないものとする。

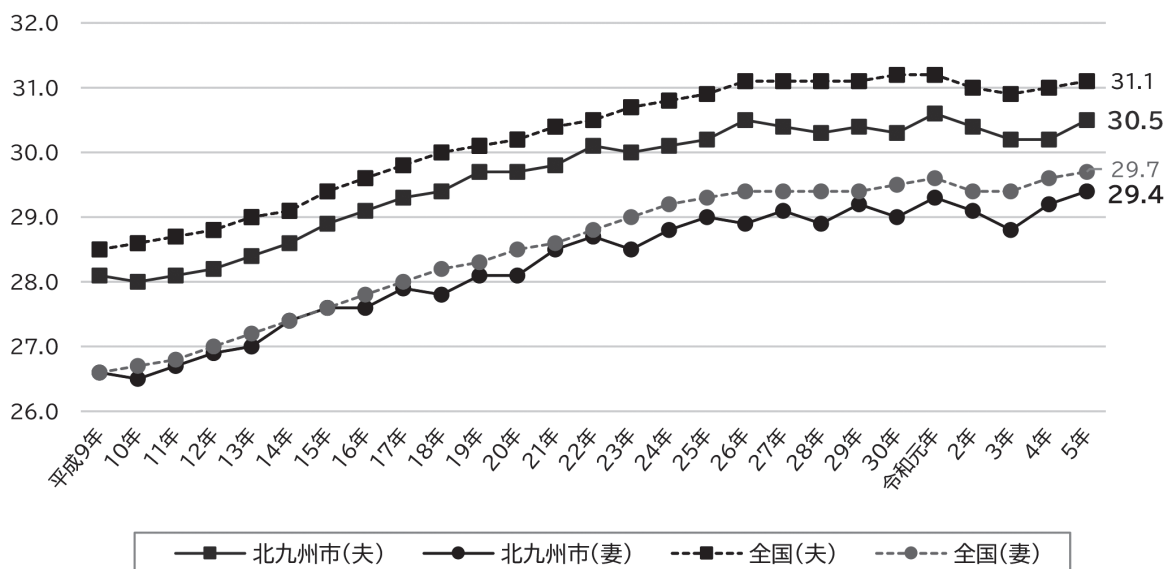
注：2. 沖縄県の1950年70歳以上の外国人136人(男55人、女81人)及び1955年70歳以上23,328人(男8,090人、女15,238人)は65～74歳、75歳以上の人口から除き、不詳に含めている。

注：3. 百分率は、小数点第2位を四捨五入して、小数第1位までを表示した。このため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

2 婚姻の状況

(1) 北九州市の平均初婚年齢の推移

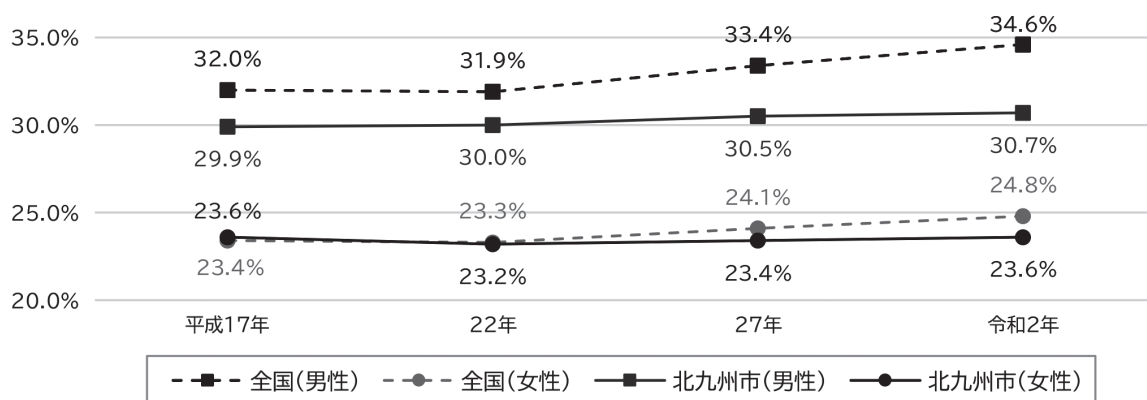
北九州市の平均初婚年齢は、夫・妻ともに全国を下回る傾向が続いており、夫は30.5歳、妻は29.4歳となっています。



資料：厚生労働省「人口動態統計」

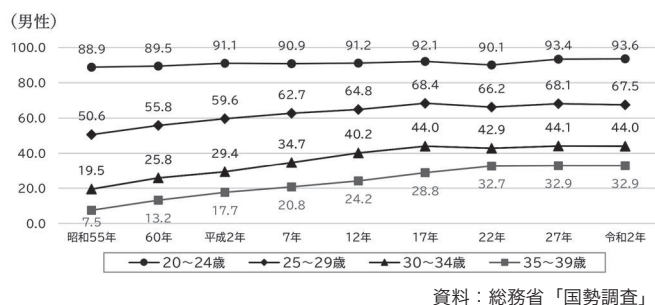
(2) 未婚率の推移

北九州市の未婚率（15歳以上の人口をもと算定）は、男性・女性ともに全国に比べ低い割合にあり、男性は30.7%、女性は23.6%となっています。



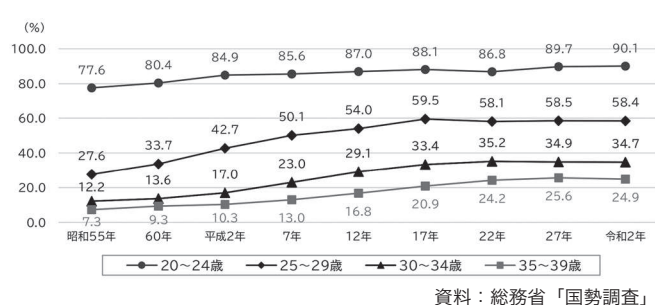
資料：総務省「国勢調査」

◆北九州市の年齢別未婚率の推移（男性）



資料：総務省「国勢調査」

◆北九州市の年齢別未婚率の推移（女性）



資料：総務省「国勢調査」